

まちづくりのありまし 市政の方針と予算の概要

田中市長は第1回市議会定例会に本年度のまちづくりの根幹となる予算案を提出し、市政の方針を述べました。これを受け同定例会では、予算案などについて活発な議論が繰り広げられました。今月は、同定例会で審議された本年度の予算と市政・教育行政の執行方針の概要をお知らせします。



市政の方針

深川市長 田中昌幸

近年の世界的な異常気象による自然災害の発生や長期化するエネルギー価格の高騰は、世界経済を極度のインフレへ導き、食料品価格が急騰するなど、私たちの日常に関わるさまざまな分野に悪影響を及ぼしています。また、本市の財政状況についても、依然として厳しい状況が続いているため、引き続き健全財政を堅持しつつ、課題解決のため、重点的な施策の実施による市政運営を進めてまいります。

以下、本年度の主要課題や重点施策などについて申し上げます。

1 新たな地方創生の推進

平和に関する事業について、戦後80周年および本市における非核平和都市宣言から40周年という節目の年を迎えるにあたり、非核平和都市宣言記念式で被爆敷石記念碑の披露や戦争体験手記の編さん・発行などの記念イベントを開催するほか、中学生の長崎平和祈念式典派遣事業の派遣人数を増員します。

また、人口減少対策として位置付けている「第3期深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の開始年度となるため、人口減少問題や本市が抱えている課題の改善に向けた取り組みを進めてまいります。

生産年齢人口の維持については、拓殖大学北海道短期大学が令和8年度以降の学生募集停止を発表しましたが、在学生が安心して学び続けられる環境づくりを継続する

「援交付金事業」を継続し、子育て世帯に寄り添った伴走型支援の充実を図るため、調査研究を進めます。病児・病後児保育事業については、利用料の無償化および利用申込のオンライン化を継続し、仕事と子育ての両立を支援します。

また、妊娠を望む方の経済的負担を軽減するため、一般不妊治療と先進医療を含む特定不妊治療にかかる費用の助成についても引き続き取り組みます。

健康福祉センター「デ・アイ」については、新たにベビーケアルームの設置および冷暖房機能を搭載した空調設備へ改修し、子育て世帯が安心して快適に過ごせる施設整備を進めます。

3 持続可能なまちづくりに 向けたDXとゼロカーボン シティの推進

人口減少社会の中にあっても、誰もが将来にわたって安心して住み続けることができる持続可能なまちづくりが求められており、近年では、DXの推進や気候変動問題への対応など新たな視点を導入していくことが重要となっています。

教育分野においては、ICT環境を活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の取り組みを進めるため、市内小中学校の児童生徒の

4 未来を見据えた 安心・安全のまちづくり

災害に強い地域社会や地域経済の実現に向け、北海道の計画と連携した「深川市強靱化計画」の改訂に取り組みます。

また、市内公共施設については、老朽化などにより修繕を必要とする施設が多いため、長寿命化に向けた計画的な修繕に取り組みます。

とともに、同短期大学が有する教育資源が持続的に活用されるよう大学と共に模索します。

また、移住定住事業の推進や結婚新生活支援事業を継続するほか、地域おこし協力隊の受け入れおよび定住化率の向上に取り組みます。企業誘致については、企業立地優遇制度による支援や広里工業団地の整備、地域産業との連携などに取り組み、企業活動をサポートします。

高齢者支援の体制整備については、介護予防や生活支援の担い手の養成、人材確保など、高齢者の見守りや支え合い、生活支援・介護予防サービスの提供体制の整備に向けた取り組みを推進します。

健康寿命延伸対策については、「市民の健康づくりに係る包括連携協定」に基づき、民間企業のノウハウを生かした各種健康づくり事業に取り組みます。

市陸上競技場については、ウレタン舗装などの改修や備品整備を進め、各種陸上競技大会の開催・誘致のために必要となる第3種公認競技場として維持・強化を図り、交流人口・関係人口の拡大に務めます。

複合施設については、市民の意見などを踏まえ策定した「深川駅周辺複合施設建設実施設計」に基づき、建設工事などに着手します。

災害時の情報伝達手段の新たな取り組みとして、屋外スピーカーや電話、LINE、メールなどに音声合成した情報を一斉に配信する防災行政無線の整備を行うとともに、全国瞬時警報システムの新型受信機の整備を行い、市民の安心と安全の確保を図ります。

北空知圏における一部事務組合の

2 子育て世帯に寄り添った 支援の強化

「子ども子育て条例」に基づき、こどもや若者が意見を表明し、地域の活動や政策に参加するための取り組みを実施します。

また、「第3期子ども・子育て支援事業計画」や「深川市こども計画」に基づき、子育て世帯や若者が抱えるさまざまな課題を軽減し、こどもの健やかな成長を支える環境づくりに取り組みます。

学校給食費については、4月から9月までの半年間を無償化するとともに、令和6年度からの学校給食費の増額改定分についても引き続き市が負担します。また、保育所や幼稚園などの副食費についても、通年で無償化し、保護者の負担軽減を図ります。

市内の中学校で導入される新制服の購入支援については、譲り受けやリユースができなくなるため、購入代の一部を引き続き助成します。

母子保健事業の強化として、産後ケア・サポート事業を拡充するとともに、多胎妊娠の妊婦健康診査の費用助成を新たに実施するほか、5歳児を対象とした健康診査を新たに開始します。

また、子育て世帯の経済的負担の軽減と妊娠・出産から子育てまで切れ目のないサポートを行うために取り組んできた「妊娠・出産応

取り組みについては、災害対策の強化では、消防ポンプ能力の向上や凍結防止対策が講じられた大型水槽車を更新し、さまざまな災害への対応に向けた整備を進めるほか、北空知葬斎場については、現施設の解体工事と駐車場整備などの外構工事を進めます。

令和7年度各会計予算

項目	令和7年度 予算額	令和6年度 当初予算額	増減額	増減率	
一般会計	196億3,000万円	181億1,000万円	15億2,000万円	8.4%	
特別会計	介護保険	24億2,800万円	23億7,200万円	5,600万円	2.4%
	国民健康 保険	29億3,200万円	29億7,300万円	△4,100万円	△1.4%
	後期高齢者 医療	4億6,900万円	4億7,100万円	△200万円	△0.4%
	計	58億2,900万円	58億1,600万円	1,300万円	0.2%
企業会計	水道	8億2,410万円	9億560万円	△8,150万円	△9.0%
	下水道	16億4,980万円	21億8,450万円	△5億3,470万円	△24.5%
	病院	58億8,581万円	59億7,397万円	△8,816万円	△1.5%
	計	83億5,971万円	90億6,407万円	△7億436万円	△7.8%
合計	338億1,871万円	329億9,007万円	8億2,864万円	2.5%	

重点事業・主要施策の概要

令和7年度予算の重点事業・主要施策の概要と該当する予算額などを抜粋してお知らせします。

～問合せ～

▶市政の方針…まち未来推進課企画係(☎番窓口/☎26-2246)

▶教育行政方針…学務課管理係(☎番窓口/☎26-2332)

▶予算について…税務財政課財政係(☎番窓口/☎26-2622)

福祉・健康・医療に関する分野

子育て世帯に寄り添った支援の強化① 1,048万円

【子育て応援プロジェクト 426万円】

子ども・子育て支援に関する調査研究や効果的なプロモーションなどを実施します。

【保育所等副食費無償化(1年間) 622万円】

保育所および認定こども園の3歳から5歳児の副食費を年間を通じて全額補助します。

子育て世帯に寄り添った支援の強化② 3,766万円

【妊娠・出産応援交付金事業

(コウノトリ応援プラン) 2,412万円】

安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを目的に、第1子・第2子に33万6千円、第3子以降に53万6千円を交付します。

【産後ケア・育児サポート事業 267万円】

助産師による心身のケア・サポートを受け、安心して育児できる体制を整備します。

令和7年度からは宿泊型・日帰型への支援も拡充します。

【5歳児健康診査】

5歳児の健康診査の費用を助成します。(乳児健康診査事業266万円内)

【病児・病後児保育事業 183万円】

利用料の無償化および利用申込のオンライン化を継続し、仕事と子育ての両立を支援します。

【多胎妊娠の妊婦健康診査支援事業】

多胎妊娠の経済的な負担を軽減するため、妊婦健康診査14回に加え、5回分を上限に助成します。(妊産婦健康診査事業638万円内)

保健衛生(環境・清掃・水道・病院)

◎市民の健康増進および疾病予防を目的に100日間にわたり各種健康づくり事業を実施

◎市立病院において良質で安定した医療サービスを提供するための運営経費 58億8,581万円

◎休日・夜間救急医療体制の維持・確保 4,425万円

◎がん検診の実施 1,660万円

社会福祉・障がい者福祉・子育て

◎外国人介護人材を受け入れた法人等に対し、経費の一部を支援 150万円

◎介護に従事する人材の確保および地域社会の介護力の向上を図る 106万円

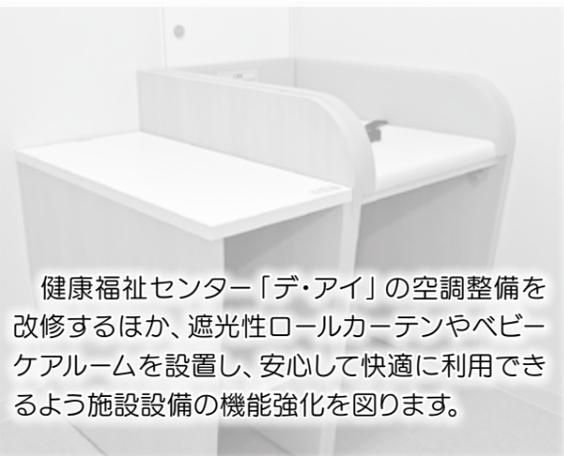
◎関係事業所と連携し、障がい福祉サービスを提供 6億7,029万円

◎住宅の取得や賃貸、引っ越し経費を助成し、若年層の結婚新生活を支援 180万円

◎保育料について、国の基準からの50%軽減や入所第2子の無料化などを実施

快適な生活基盤の構築に関する分野

健康福祉センターの空調整備と授乳室等の整備 6,893万円



健康福祉センター「デ・アイ」の空調整備を改修するほか、遮光性ロールカーテンやベビークールームを設置し、安心して快適に利用できるよう施設設備の機能強化を図ります。

経済・産業に関する分野

商工・観光

◎ふるさと納税の推進とともに、コメや加工品などの返礼品を有効活用した地場産品PR 5億円

◎企業や商店の経営安定と経営体質強化のため、支援事業を推進 2億2,772万円

◎企業誘致活動の推進と既存企業の支援 9,492万円

◎中心商店街のにぎわい創出に向けた取り組みなどの支援 410万円

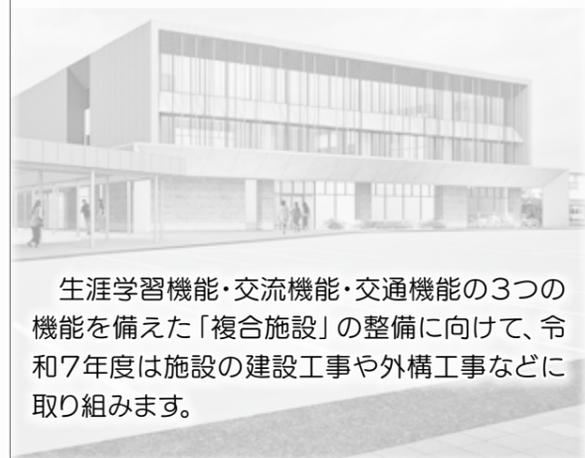
◎道の駅「ライスランドふかがわ」の満足度向上のためキャンペーンの開催経費など 3,345万円

◎観光知名度の向上と観光客の誘客に向け周辺自治体と連携した広域観光の推進 2,118万円



複合施設整備事業の推進

12億6,207万円



生涯学習機能・交流機能・交通機能の3つの機能を備えた「複合施設」の整備に向けて、令和7年度は施設の建設工事や外構工事などに取り組みます。

土木・住宅

◎都市基盤である道路網や橋の整備 4億8,873万円

◎定住促進や地域活性化のため、住宅の新築や耐震改修などの費用の一部を助成 2,517万円

◎市営住宅(あけぼの団地)の耐久性向上を図るため、屋上防水改修と外壁塗装を実施 7,512万円

◎冬期間の快適な生活環境を確保するため、除排雪作業を効率的に実施 5億719万円

農林業

◎多面的機能の発揮のための地域活動や営農の継続等に対する支援として、日本型直接支払事業を有効に活用 6億8,790万円

◎本市の基幹産業である農業の担い手を確保・育成し、優良農地の円滑な継承を推進するため設立した農業法人「株式会社深川未来ファーム」の運営支援 2,750万円

◎農作物被害の防止を目的とした有害鳥獣の捕獲やその個体を適性に処理する施設の運営 3,273万円

◎間伐等の森林整備や乳児に積み木を配布するウッドデビュー推進事業などを実施 3,449万円

◎地域おこし協力隊の活動を通じて、地域の活力の向上に資する取り組みを推進 1億4,023万円

労働

◎中小企業で働く労働者の生活の安定と福祉の推進を図るため、臨時かつ緊急に必要な資金を融資します。 605万円

大型水槽車の更新及び防災行政無線の整備による災害対策の強化 1億893万円

【大型水槽車の更新 7,893万円】

消火活動のほか、さまざまな災害に対応可能な大型水槽車を更新します。

【全国瞬時警報システムの新型受信機の整備 1,000万円】

全国瞬時警報システムの新型受信機を整備します。

【防災行政無線整備事業 2,000万円】

災害時の情報伝達手段を多重化するため、屋外スピーカーや電話、LINE、メールなどに音声合成した情報を一斉に配信する防災行政無線を整備します。

市役所運営等

◎移住支援員を配置し、相談対応や体験事業などをワンストップで実施するほか、オンライン移住セミナーの開催やSNSを活用した情報発信を行うなど、移住・定住をより一層推進 1,318万円

◎「地域活性化起業人制度」を導入し、民間企業の専門知識やノウハウなどを生かし、本市の課題解決に取り組みます。 560万円

◎JR留萌本線廃線イベント 150万円

学校教育においては、これまでの「知識の暗記」、「正解主義」から脱却し、学びの動機付けや幅広い資質・能力の育成に向けた「主体的・対話的で深い学び」の視点による学習が求められています。

また、「人生100年時代」を迎えた今、全ての人が地域とのつながりの中で体験的に学び、さまざまな活動に積極的・主体的に関わる意識を高め、それらを生涯にわたって実践していくためにも、社会教育の重要性が高まっています。

こうした認識のもと、本市の学校教育や生涯学習・社会教育の充実などに向けて、令和7年度における教育行政の推進に係る主要施策について申し上げます。

【主要施策の概要(抜粋)】

《学校教育の充実》

- ・児童生徒の1人1台端末を全台更新します。
- ・個人の特性に応じた学習環境をつくるため、一己小学校に新たに通級指導教室を開設します。
- ・学校給食費について、4月から9月までの半年間の無償化などを継続し、幼稚園の副食費は、これまでの半年間から1年間に拡大します。
- ・中学校が令和7年4月から新たに導入する指定制服の購入費用の一部を助成します。
- ・指導者用端末および校務用端末の1台化やクラウドを活用した校務DX環境を新たに整備するなど教職員の時間外在校等時間の削減に取り組みます。
- ・市内公立高等学校2校の存続については、魅力づくり支援事業や小中学校と高校との連携事業などを行うほか、両校の魅力について情報発信します。
- ・小学校配置のあり方については、昨年開催した「小

学校配置に関する深川市民の意見を聴く会」の意見を基に保護者や関係者と共有し、丁寧な対応に努めてまいります。

《生涯学習活動の推進と社会教育の充実》

- ・市職員が講師として出向く「出前講座」を実施するなどして、いつでも・どこでも・だれでも自由にできる学習機会の提供に努めます。
- ・市民公開講座を開催するなど、各種社会教育事業の充実に取り組むほか、その実践の場となる社会教育施設について、適切な維持管理に努めます。
- ・子どもの自主性や自発性を養うため、リーダー養成事業などを実施し、地域社会で実践できる力を身に付けられる場の提供に取り組みます。

《文化・スポーツの振興》

- ・優れた芸術に触れる機会の拡充に向け、関係機関などと連携し推進するとともに、市内の文化・芸術施設が活用されるよう取り組みます。
- ・国指定史跡の音江環状列石をはじめとする有形・無形文化財のPRに努めるとともに、文化財保護委員と連携し、文化財の保存と活用に取り組みます。
- ・関係機関・団体などと連携し、市民が気軽にスポーツに参加できる、特色ある事業の実施に取り組んでいきます。
- ・部活動の地域移行については、令和6年度に設立した「深川市部活動地域移行推進協議会」において引き続き協議を行うとともに、北空知全体で検討を進めます。

学校給食費一部無償化と中学校制服購入助成の継続・幼稚園副食費無償化の拡大 3,414万円

【小中学校給食費支援 2,991万円】

学校給食費を4月から9月までの半年間無償化し、令和6年度に改定した給食費の増額相当分を市が負担します。

【教育・保育施設副食費等支援 163万円】

幼稚園の副食費補助を1年間に拡大します。

【中学校制服購入助成事業 260万円】

中学校で導入される新制服購入代の一部を助成します。

私立学校振興等

- ◎私学振興として、拓殖大学北海道短期大学に在学する学生が安心して学び続けられる環境づくりやクラーク記念国際高等学校の地域との交流促進などの取り組みを支援 4,448万円

小・中学校におけるICT環境の充実 1億1,242万円

【1人1台端末(タブレット)の更新 6,690万円】
ICT環境を活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の取り組みを進めるため、児童生徒の1人1台端末を更新します。

【校務DXの推進に係る環境整備 4,552万円】
校務DXの推進として教職員が使用する指導者用端末および校務用端末の1台化など、教職員がロケーションフリーで働ける場となるよう環境を整備します。

学校・生涯学習・文化スポーツ

- ◎地元公立高等学校の入学者確保と教育環境の向上を図るため、魅力ある学校づくりを支援 773万円
- ◎児童生徒の学力向上を図るため、放課後教室や夏期休業中の学習支援を実施 316万円
- ◎文化芸術およびスポーツのレベル向上と振興を図るため、全国・全道大会に参加する市民に対して助成します。 249万円
- ◎合宿と交流人口の増加を図るため、企業版ふるさと納税などを活用し、特色あるスポーツイベントや施設整備などを実施 400万円
- ◎地域ボランティアを活用し、地域全体で学校を支援する事業を実施 21万円
- ◎生涯学習社会の実現のため、各公民館において幅広い年齢層に対応した事業の充実を推進 119万円

その他行政サービスに関する分野

戦後80周年・非核平和都市宣言40周年記念に伴う平和事業 141万円

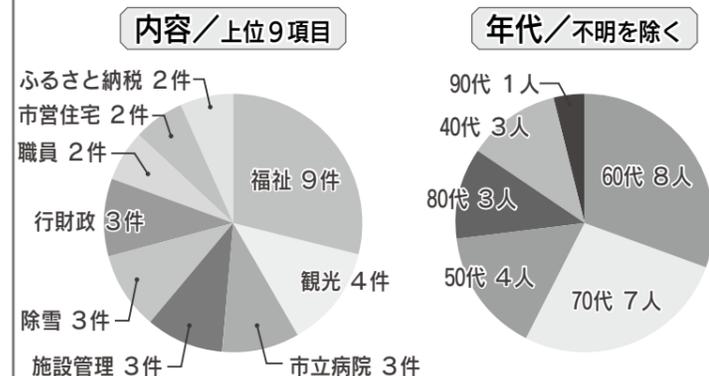
戦後80周年および非核平和都市宣言40周年という節目の年を迎えるにあたり、平和イベントの実施や長崎平和祈念式典派遣事業の拡充を実施します。

公共施設の長寿命化に向けた計画的な修繕の実施 2億7,487万円

施設の老朽化などにより修繕を必要とする施設が多くあるため、公共施設等総合管理計画の着実な実行に努め、予防的修繕を行います。

令和6年度 市長への手紙集計

令和6年度中に、みなさんから市に寄せられた「市長への手紙」は45通で、内容にすると59件となりました。「市長への手紙」は、市長が全てに目を通し、担当課を通じて対応や改善を図りました。中には、匿名の方や連絡先や内容が不明なものもあり、回答できない場合がありますが、みなさんからの意見は、今後の市政に生かしていきます。



意見・情報・アイデアなど

【手紙やハガキ】
〒074-8650
深川市2条17番17号
深川市長あて
【電話】26-2216
【ファクシミリ】22-8134

【電子メール】
kouhou@city.fukagawa.lg.jp

【みんなの声ポスト】
市役所1階ロビー

【直接窓口】
秘書課秘書広報係へ



「市長への手紙」の様式は、
・広報6月号
・広報10月号
に折り込みしています。
記載いただいた手紙は、そのままポストに投函できますので、みなさんからの市政への声を気軽に届けてください。

さらに多くの事業を紹介！
わかりやすい予算書はこちら

市の予算を分かりやすく説明した令和7年度予算説明書「深川市の今年のしごと」を市役所と各支所で閲覧できます。また、希望する方に配布しますので、税務財政課財政係に連絡してください。市ホームページにも掲載しています(「深川市の今年のしごと」で検索してください)。

【QRコードはこちら】

